

こんなまちづくりをしたい！
大崎の宝や未来を高校生が話し合いました

7月20日、市の未来像を語り合う、移動市長室「おおさき宝探し未来トーク」を開催しました。

古川高等学校の協力のもと、同校の文化祭にあわせて高校生3人の生徒をパネリストに迎え、市長とトークセッションを行いました。



▲大崎の魅力とは何かを探るパネリストの皆さん(中央3人)

「市長に聞いてみよう」と題したトークセッションでは、市が力を入れている取り組みや、高校生が身につけておくべき力など、市長の実体験を交えた話を聞きました。

また、トークセッションの終盤では「もし自分が市長だったら、こんなまちにしたい」とパネリストが発表。「子どもたちが安全に暮らせる街にしたい」「全国にアピールできる大崎市全体の象徴をつくりたい」「スポーツをツールとしてイベントを企画し、大崎の良さを知ってもらいたい」などの意見が出されました。

安全なまちづくりは、地域コミュニティの活性化にもつながるといふ気づきや、七つの地域の魅力を一体に感じさせる何かが必要だという、大崎をより良くしたいパネリストの熱意が感じられました。

市長は「高校生の皆さんには、これからも夢を大きく持つて、できることを一つ一つ実践していただきたい」と話しました。

市では今後も、市民の皆さんと大崎の未来を一緒に考える機会を大切にしていきます。

地域の「集まりの場」を支える
地域活動サポーターが活躍しています

市内の地域には、いきいき百歳体操や高齢者のつどいなど、住民が主体となったさまざまな地域活動の場があります。そういった「集まりの場」を支えているのが「地域活動サポーター」です。

超高齢社会が進む中、いつまでも住み慣れた地域でいきいきと過ごすためには、地域住民が支え合い、互いに見守ることが必要です。

地域住民の交流を支えるため、地域活動サポーター(以下サポーター)は、さまざまな手法のレクリエーションを養成研修で学び、集まりの場の楽しみに還元させています。

8月9日、鳴子温泉地域で行われた「回想法を取り入れたレクリエーション」には、サポーター13人が参加。相手の心を引き出す方法や、話すきっかけ作りなどを学びました。

回想法とは、写真や思い出の品、民俗資料などから記憶

を呼び起こし、高齢者ケアに生かすものです。

昭和初期の民俗衣装と写真を使った回想法の体験に、参加者は、「写真などの道具を使って昔を思い出すと、自然と会話が弾むことが実感できた」と話していました。

サポーター養成講座は、今後も市内各地域で、二週にわたる形で進みます。地域の支え合いを手助けする活動に、あなたも参加してみませんか。



▲回想法は、写真など身近な資料を使ってだれでも気軽に楽しめます

問 高齢介護課高齢福祉係
☎ 6085

Discover Osaki

地域発 お・ら・ほ・の・ま・ち

自分の住む地域を「おらほ」というと、親しみや愛着を感じませんか。おらほの地域づくり、おらほの隠れた名所、おらほの美味しい特産品、おらほの伝統のまつり、おらほのイベント……。そんな、愛してやまない「おらほの地域」を発信します。



古川発

アットホームな雰囲気 夏の風物詩

市内では、暑い夏をさらに熱気で包む「夏まつり」が各地域・地区で行われました。

8月14日、この日まつりが開催された一つに、「清滝夏まつり」があります。古川地域清滝地区は約450戸(世帯)ですが、まつり会場となった清滝地区公民館前駐車場には、帰省した人や地区外から訪れた人など、あふれんばかりの来場者でにぎわいました。

第17回を数える「清滝夏まつり」の実行委員会メンバーは、地元の青年9人で構成。そのメンバーが



▲家族連れや友人同士などで、会場には笑顔があふれました

小さい頃は、夏になると盆踊り大会が行われていましたが、時代の流れとともに、いつしか途絶えてしまったそうです。

「昔懐かしいお

祭りの復活を」と集まったメンバーが、地域のみんなで楽しめるお祭りづくりに取り組みました。仕事の傍ら準備をしたりと苦労もありますが、メンバー自身が楽しむことが来場者のにぎわいや楽しみにつながるのだそうです。

実行委員会の今野委員長は「地域の子もたちや帰省で訪れた人が、夏の思い出とふるさとへの愛着を感じてもらえるようなお祭りを今後も作っていききたい」と話してくれました。

年に一度の夏の風物詩。皆さんの地元にも、大切な夏の思い出になる「なにか」がきっとあるはずです。



▲まつりのフィナーレを飾る、地域や家族への思いが込められたメッセージ花火

鳴子温泉発

令和初 夏の成人式で誓いを胸に

8月15日、鳴子温泉地域の成人式が行われました。夏の成人式開催は市内唯一で、旧鳴子町時代から、お盆の帰省シーズンに合わせて開催しています。

元号が変わり「令和」初の成人式に出席したのは35人。スーツにドレス、中には夏ということもありアロハシャツ姿で式典に出席した新成人もあり、同窓生との再会を喜び合いました。会場には、鳴子中学校時代の恩師が駆けつけ、当時を振り返り心温まる励ましの言葉が送られました。

新成人の皆さんは「令和初の成人式。新成人として良いスタートを切りたい」「地元のために何かをしたい。これから目標を見つけない」と抱負を話してくれました。

新成人の皆さん、おめでとうございます。



▲家族や恩師に感謝し、これからの人生を力強く歩むことを誓いました。

2019	31日	30日	25日	21日	16日	15日	14日	8日	3日	2日	8月の主な出来事
	●大崎市民パークゴルフ大会	●第65回全国こけし祭り・第29回鳴子漆器展(9月1日)	●おおさきジャンボ肉まつり in たじり	●宮城県市長会議 名取市	●第1回おおさき元氣戦 略推進委員会	●鳴子温泉地域成人式 平和のつどい	●まっやま夏まつり ●三本木夏まつり ●鹿島台わらじまつり	●第1回大崎市健康づくり推進協議会	●古川まつり(〜4日)	●おおさき花火大会	8月の主な出来事



▲第10回全国和菓子甲子園初出場の古川学園高等学校3年、遠山真央さん(右)と佐々木華歩さん(左)